

共同生活援助事業ふれんど事業報告

1. 事業概要

2021年度は、グループホームは、小規模入所施設ではないことをふまえ、入居者の生活は、可能な限り一般家庭に近い形での生活を目指しました。3か所のグループホームに入居している12名の目指すところはそれぞれ異なるが、入居者個々の目的が達成できるように支援しました。

2. 目標に対する実績

(1) 「ふれんど1」「ふれんど2」

人間愛豊かな施設を目指すために、地域社会の中の一グループホームとして、地域の中で安全で安心して快適な生活を送れるように支援し、特に防犯対策に力を入れました。防犯センサーライトの設置、ホーム内に手すりを設置しました。

(2) 「なごみ」

入居者の平均年齢が70歳を超えているため、人生の終末をゆったりとした環境の中でのんびりと人間らしく暮らせるように、入居者のターミナルケアとその先にある入居者の最期を看取ることも視野に入れた支援を行い、特に健康管理をしっかりと行いました。

(3) 昨年度同様、3つのグループホーム共に、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、ホーム内の消毒を徹底し、リビングテーブルには、衝立を設置するなどの対策を行いました。また、1年を通して、極力不要不急の外出を控えさせて頂きました。しかし、昨年度中止させて頂いていた長期家庭帰省については、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見ながら、再開しました。